

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	6	新井田 昭 男	
<p>1. 大規模自然災害（巨大地震）における減災について</p> <p>去る7月29日、北海道新聞によると、北海道が28日に公表した日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震（M9級）で、市町別の具体的な人的被害想定が発表されました。</p> <p>それによると道内の死者数は最大14万9千人で、市町最多の釧路市では8万4千人であり、道南近隣市町では函館市2万9千人、北斗市1万8千人で、当町においては1千人規模の人的被害想定となっています。</p> <p>また、冬期などさまざまな負の要因が重なった場合、更なる人的被害の拡大が考えられるとしています。</p> <p>このような具体的被害想定公表で、我が町の高齢化による「災害弱者」の多い事情に鑑み、あらためて「木古内町強靱化計画」の検討、見直しを図り、人的被害に対する減災対応にあたるべきと考えます。</p> <p>以上のような観点から、下記内容について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 当町における人的被害想定1千人規模に対する対策について</p> <p>(2) 「自主防災組織」の考えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の中で、「災害弱者」等の各地域事情を踏まえた行政の取り組みについて伺います。 <p>(3) 各地区の避難場所の運営方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生による道路寸断など、各避難場所での行政関係者の対応が困難な状況が想定されます。特に本町以外の避難場所の運用効率化のため、運営をどう考えているのか伺います。 ・各避難場所への防災備品の適切な配分がなされているのか伺います。 			町 長